

<急性アルコール中毒>

暖かくなりお花見や歓送迎会などでお酒を飲む機会も多くなると思います。そこで注意しなければならないのが急性アルコール中毒です。急性アルコール中毒とは大量の飲酒によって血中アルコール濃度が上昇し、意識レベルが低下して嘔吐や呼吸状態が悪化するなどの症状が出て危険な状態に陥ります。若年者や女性・高齢者でリスクが高くなり、女性は体内の水分量が男性より少ないため、同じ体重・同じ飲酒量であっても血中アルコール濃度が高くなります。またアルコールの代謝能力も平均すると男性の3/4程度しかありません。とくに新社会人や大学生では飲みなれていないのに雰囲気で一気飲みやついつい量も多くなり死に至るケースが毎年発生しているようです。また吐けば酔いが覚めて状態が改善すると考えがちですが、酔いつぶれた人を無理に吐かせようとするとう物が逆流してのどに詰まって窒息する可能性があります。意識が低下している場合や嘔吐、血圧低下、脱水症状、歩行困難、低体温、寒気がみられる方が周囲にいたら無理に吐かせようとしてず下記の事を行いましょう。

- ・絶対に一人にしない
- ・衣服をゆるめて楽にする
- ・体温低下を防ぐため、毛布などをかけて暖かくする
- ・嘔吐による窒息を防ぐため、横向きに寝かせる
- ・吐きそうになったら、抱き起さずに横向きの状態で吐かせる

また大きないびきや揺すって呼びかけても反応しない、体が冷たくなっている、倒れて口から泡を吐いている、呼吸状態が不安定な兆候が現れたなどの場合は、すぐに救急車を呼びましよう。